

知的書評合戦 ビブリオバトルIN 塩山^③

10周年
year

令和6年6月2日(日) 17:15~開催報告

第34回大会

テーマ: 『フリー』

『宙わたる教室』

伊与原 新 / 著, 文藝春秋

定時制高校が舞台の小説。定時制高校で勤務をしていた先生が「科学部」を立ち上げ、様々な事情を抱えた生徒たちがその活動に取り組んでいくお話。実際の定時制の学校をもとに書かれているとのことでした。登場人物1人1人の科学部に入るようになった理由を読みたいです。



『ビブリア古書堂の事件手帖』

葉子さんと奇妙な客人たち

三上 延 / 作, KADOKAWA

古本屋を営む女店主とわけあって古本屋を訪れた男の話とのこと。「推理要素」と「店主と女主人公の関係」、「女店主の謎」が魅力的な本と紹介



てくれました。続巻も出ていますので話が進むにつれて徐々にわかる女店主の謎が気になります。



『バッタを倒すぜアフリカで』

前野ウルド浩太郎 / 著, 光文社



バッタの研究をするため世界各地を飛び回っている著者の実体験を基にした書籍。研究の成果をまとめた論文発表を乗り越え、そこにいたるまでにあった出来事を紹介しているそうです。

助手のティジャーニのことばかり書かれた章もあるそうで面白そうですね。



『恋する寄生虫』

三秋 纒 / 著, KADOKAWA



人の中に馴染めない2人が出会ってお互いにひかれあっていく...でもそれはある寄生虫の影響で...この小説を書いた著者はちょっと変わった恋愛小説を書くことが多いと紹介してくれました。物語の結末がどうなるのか。同じ著者の本も含め読みたいです。



『朝鮮人強制連行』

外村 大 / 著, 岩波書店

まだ日本が戦争をしていた時代、朝鮮から日本へ連れてこられた人たちのことを書いた新書とのこと。この本では記載がないようですが、山梨県の塩山でも朝鮮の人たちを連れてきて働かせていた場所があったということを知りました。どういきさつで朝鮮人強制連行が行われたか知っておきたいですね。



《塩山図書館で展示しています。展示棚にない場合は予約ができます。》

★第34回大会のチャンプ本★

『恋する寄生虫』《参加者のみなさんの感想》

三秋 隼／著，KADOKAWA

- ちょっと変わった恋愛小説というところが気に入りました。
- 自分にも通ずるところがありそうで興味がわきました。
- 寄生虫が出てくる恋愛小説というテーマがかなり気に入りました。
- ひきつけあって人間生活になじめなくなる過程がおもしろそうですね。
- 恋愛小説ということで親しみやすいのかなぁと思いました。映画もあるということなのでそちらも見たいと思いました。
- 実際読んだらどんな展開になるのか？ハッピーエンドだから中高生にもおすすめです。
- 同じ著者の他の作品もふくめ読んでみたくなりました。



★参加者のみなさんよりイベントの感想★

- 数年ぶりに見たが、今度はバトラーとして参加したいと思いました。
- 10周年おめでとうございます！こんかいもバラエティに富んだ楽しい本でした。知らない本を知ることができてとても良いイベントだと思います。
- フリー大会だとすごくバラエティにとんだ本がでてきてすごい！！バトラーの皆様の熱量もすごかった！
- 初めて観戦しましたが、楽しかったです。日程が合えばまた観戦したいです。新しい出会いがありますね！！
- いろいろな本を知ることが出来てとても良かったです。
- テーマがフリーだったので、バラエティに富んだ本を紹介してくださって面白かったです。ありがとうございました。

《第35回大会のご案内》

★テーマ「フリー」(発表者募集中！塩山図書館まで)

▲令和6年9月29日(日)

午後5時15分から 塩山図書館 閲覧席にて

▲観覧者→当日時間までにお集まりください。▽当日の閲覧席利用は16:45までです